

ヨシナカ新聞

4年目を迎えて...

『ヨシナカ新聞』もお陰様で4年目を迎える事が出来ました。これまでの3年間、なんとか続けて来られたのも、お世辞にも良い出来とは思えない未熟なこの新聞を大きな大きな心で読んで下さったお客様、暖かく見守って下さった弊社の皆さん、文句も言わず毎月印刷作業をこなしてくれた女子社員、そして新聞を配布してくれた営業スタッフのおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。本当に本当にありがとうございます。

これから多少しでも充実した内容になるよう、皆さんに微笑みながら読んで頂けるような、次の号も楽しみだなんて少しでも思っただけな『ヨシナカ新聞』にしていきたく思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

姫川を駆け抜ける気動車たち

スキー場で有名な長野県の梅池高原がある小谷村役場内の特設会場で3月16日から5月11日まで写真展が入場無料で開かれています。

「姫川谷を駆け抜ける気動車たち―遊人たちの作品集」。県内外の鉄道愛好家が「大糸北線」と呼び親しんでいる南小谷駅より北の未電化区間で撮影した計約50点が並んでいます。姫川に沿う狭い谷を旧国鉄時代の色のディーゼル車が走る風景。



4月号
発行所
（株）北陸ヨシナカ
大阪本社工場
TEL:072-977-8861
FAX:072-976-0634

K社員のピアノ奮戦記 絢余曲折

右手を動かすと左手が動かない。左手を動かすと右手が動かない。そんなボロボロの私にも先生は呆れずに、次のレッスンまでに練習して来て下さいと優しく仰って下さいました。

自宅に戻って、楽譜を見ながら両手で弾こうとしますが、さっぱり動きません。片手ずつならスムーズに弾けるのに、両手だと止まってしまします。結局1小節ずつ右手と左手の関係を探りながら何度も練習したら暫くして押さえられるようになりました。結局、いつもの丸暗記奏法に変化なし。あゝ、進歩ないなあため息をつきながら一人呟く私。

次のレッスンでは、習った4小節を丸暗記で弾き、次の4小節をまた片手ずつ練習して、自宅で丸暗記奏法に変換してまた新しいレッスンを迎えるという、ちよっとおかしな練習方法になってしまいました。

ステンレス豆知識

オーステナイト系ステンレスの機械的性質

オーステナイト系ステンレスは、1010～1050 に加熱後急冷する “ 固溶化熱処理 ” を行った状態で最高の韌性（じんせい）、延性を示し、フェライト系のように切欠き感受性も大きくありません。

表に示されるように普通鋼に比べ引張強さが高いにもかかわらず伸び値も高いという特性を持っています。18-8系ステンレスは冷間加工（常温で行う加工）を強く行うと金属組織に変化を生じ、オーステナイト組織からマルテンサイト組織に変わり（この現象を加工誘起変態といいます）、その結果強度及び硬さが上昇し（加工硬化）、磁石に付くようになります。この現象はオーステナイト組織が比較的不安定な17Cr-7Ni(SUS301)や、18Cr-8Ni(SUS304)などの鋼種で顕著であり、この特性を利用して鉄

道車両などの構造材や耐食バネ等として用いられています。また、逆に加工後も非磁性であることを要求されるような場合や強度の冷間加工を必要とする場合には、オーステナイト組織を安定にして加工誘起変態を起こしにくくした鋼種もあります。（引用：ステンレスのお話（日本規格協会））

材料	性質	引張強さ (N/mm ²)	伸び (%)	硬さ (HB)
ステンレス鋼板 SUS430		490	29	150
ステンレス鋼板 SUS304		579	55	150
普通鋼板 SPOC		324	42	70
アルミニウム板 1100-O		93	40	25
アルミニウム板 1100-H24		142	20	-
電気銅		220	50	46
純チタン		392	30	120